

2023年12月度 建築音響研究会 開催報告

12月度研究会は、あきた芸術劇場ミルハスにて、対面で開催いたしました。テーマ「ホール音響」において2件の研究発表および施設見学会が行われました。研究発表では、「あきた芸術劇場ミルハスの音響設計 その1 ―建築音響設計について―」, 「あきた芸術劇場ミルハスの音響設計 その2 ―電気音響設備設計について―」の2題について講演・議論が行われました。後半の施設見学では、大ホールの建築音響, 電気音響設備について、音声や音楽演奏の試聴会を行いました。29名の皆様にご参加いただき、大変活発な質疑討論が行われ有意義な研究会となりました。

今後とも引き続き、積極的な話題提供と研究会へのご参加をお願い申し上げます。

■開催概要

日 時 : 2023年12月22日(金) 13:00~16:00

場 所 : あきた芸術劇場ミルハス 小ホールB, 大ホール(秋田県秋田市)

議 題 : ホール音響

発表件数: 研究発表2件, ホール施設の見学会

参加者 : 29名



施設外観



研究発表(小ホールB)



見学会: 電気音響設備の試聴



見学会: 演奏の試聴

■発表題目および内容概要（テーマ：ホール音響）

※以下の概要は建築音響研究会資料の「内容概要」から転載したものです。

1. あきた芸術劇場ミルハスの音響設計 その1ー建築音響設計についてー

中川貴美子，宮崎秀生（ヤマハ），岸永伸二

【概要】あきた芸術劇場ミルハスは，クラシック系音楽からポップス系音楽，歌舞伎まで幅広い演目に対応可能な大ホール（2007席）と，演劇をはじめとした舞台芸術活動に適した中ホール（800席）を中心に，大・中ホールのリハーサル室を兼ねた二つの小ホール，大小9つの練習室等を備えた大型複合施設である。本報では，2000席規模の大型多目的ホールにおける建築音響上の課題と，その解決のために実施した詳細音響検討および音響測定結果について報告する。また，中・小ホールの音響設計コンセプトと音響測定結果，施設の遮音・騒音制御計画についても併せて報告する。

2. あきた芸術劇場ミルハスの音響設計 その2ー建築音響設計についてー

千葉朝子，鈴木健斗，浪花克治（浪花千葉音響計画），
小塚和夫（サウンドスタッフ）

【概要】あきた芸術劇場ミルハスは，県・市連携整備施設として，県民会館（昭和36年9月竣工）と市文化会館（昭和55年4月竣工）の機能を継承させ，新たに秋田の文化芸術創造拠点として秋田市中心部の千秋公園内の旧久保田城跡地に令和4年9月にオープンした劇場である。大ホール（2,007席）は様々な興業ニーズに対応可能な高機能型のホールとして，中ホール（800席）は舞台と客席の一体感を得られる演劇・舞踊など舞台芸術の上演を主目的とした舞台芸術型ホールとして，2つの小ホールは大小ホールのリハーサル室として利用できるホールとして，計4ホールをもつ。ここでは，主に大ホールと中ホールの電気音響設備設計，その音響特性の概要を報告する。

☆ 建築音響研究会の資料（バックナンバー）に関する問合せ先:

建築音響研究委員会 HP (<https://asj-aacom.acoustics.jp>) にてバックナンバーのページをご確認いただき，研究会幹事団までお問合せ下さい。